

飯伊地区 産業経済動向

No.563 2026/2
(8.3.25 発行)

 **飯田信用金庫**
IIDA SHINKIN BANK
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：学生ボランティアと地域住民が協働して竹林整備を行った鈴岡城址公園 (飯田市駄科・3月7日撮影) ……	P 1
製造業 景況DIは前月から改善。全体的に景況感好転の声が多いが、中東問題が懸念材料 ……	P 2
建設業 2月の公共工事は前年比増加。1月の住宅着工は前年比81%増加 ……	P 4
商業・サービス業 景況DIは前月から大きく変わらず。卸売業、宿泊業で景況感悪化の声が多い ……	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です 三遠南信地域 路線バスの旅 Season 2 (3) 飯田駅から豊橋駅へ (3) ……	P 6
特集 水素エネルギーに関するアンケート調査結果 ……	P 9
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標 ……	P 12

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月から改善。全体的に景況感好転の声が多いが、中東問題が懸念材料

当月の製造業の業況判断指数（DI）はプラス16.1で、前月から16.1ポイント上昇。翌月予測はプラス40.0で、前月から15.9ポイント上昇。当月は、電機・精密・光学機器製造や食品製造で景況感好転の声が多く、その他分野などで景況感悪化の声が一部あったものの、全体での指数は前月から改善した。先行きは、電機・精密・光学機器製造で好転見込みの声が多く、こちらは5か月続けてプラス圏となった。低迷していた半導体分野に関して前向きなコメントも複数聞かれるが、一方で中東問題による原材料高や景気低迷を懸念する声も多く寄せられた。

主な業種の動き

●電機・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれる。先行きについては販売、受注とも横ばい～やや増加で、減少を見込む声はない。
- ☑景況感…… 当月の景況感は業者により見方が分かれる。先行きは横ばい～やや好転で、好転見込みの声が多い。

〔企業からのコメント〕

- ・久しぶりに全取引先が「好調」と言える水準になっている、イラン紛争の影響が悪い方向に出なければ良いが。
- ・半導体分野で動きが出てきた様子。牽引してくれると、この先上昇の気配。

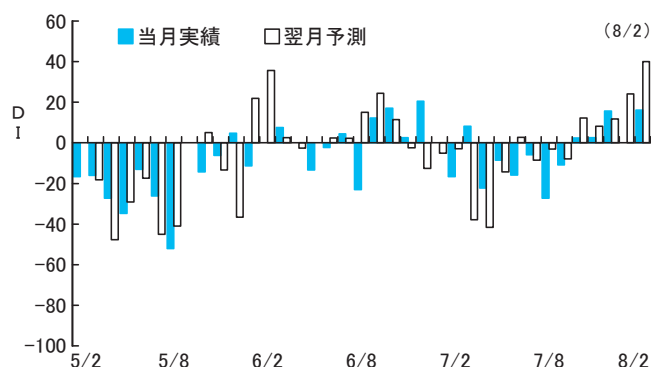
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 前月比は販売は業者により増減分かれ、受注は横ばい～増加。販売の先行きは横ばい～やや増加で、減少見込みの声はない。
- ☑景況感…… 当月の景況感は横ばい～やや好転。先行きも同様で、悪化見込みの声はなかった。

〔企業からのコメント〕

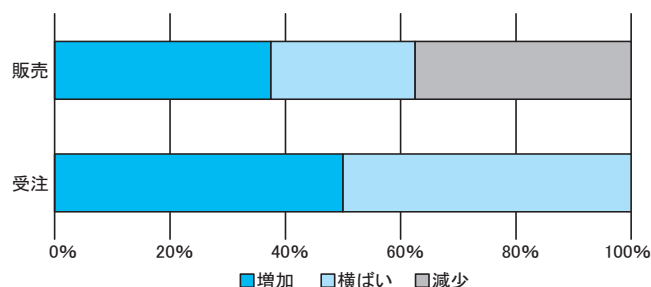
- ・「2月に入り、需要が急増した。過去最高の受注量となっており、当面は対応に追われそう。9月までは現状の需要が継続することが確定的。出荷量が生産量を追い越し、在庫消化のペースが早くなっている」「半導体産業用部品注文が少しずつ出てきた。全体的に明るい話題が増えてきた気がする」
- ・AIサーバー向けを中心に、需要が急増している。主に台湾TSMC、韓国サムスン、米国マイクロン、中国市場向けとなるが、TSMCの投資が加速している状況。それでもAI需要には追いついていない状況らしく、今年1年は高需要が続く見込み。当初の予測は2027年にワンランク上がった需要となる予測だったが、前倒しの状況となってきている。
- ・「主原材料のアルミ地金が4月に値上がりとなるため、価格転嫁が必須となる。地政学リスクが沢山あり、今後も原材料は上昇傾向となる見通し」「地政学的な影響大。戦争のおかげで、燃料、原材料の高騰はすでに秒読み。景気回復は見込めるのかどうか、大いに不安」

飯伊地区景況DI（製造業）

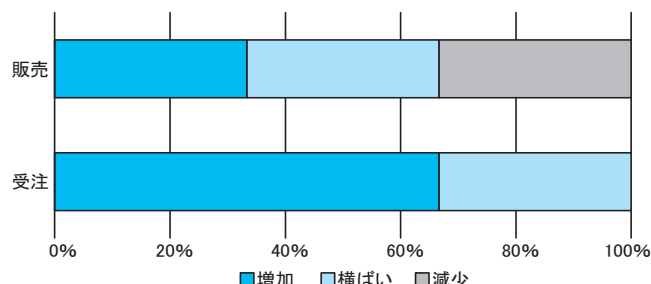


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電機・精密・光学向け部品前月比回答割合



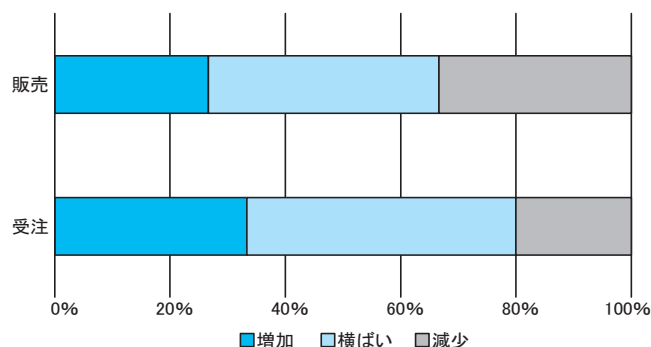
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれる。受注は増加の声がやや多い。販売の先行きについては業者により増減分かれるが、増加見込みの声の方が多い。
- ☑景況感…… 当月は横ばいとの声が多い。先行きは業者により見方が分かれるが、好転見込みの声の方が悪化見込みの声よりも多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



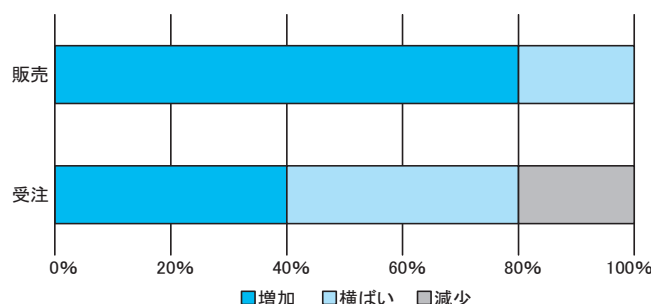
[企業からのコメント]

- ・「少しずつ動きが出てきた感じがする。3月はこれまでに比べ仕事量が増える見込み。ただ、イラン関係がどのように影響が出るかが心配」「一時的に動きあるも波があり、思うように続かない。見積もり依頼は以前より増えてはきているが、イラン問題が心配」「世界情勢（中東問題）が不安定で、先の見通しが全く見えない」
- ・自動車業界は相変わらず低迷している。半導体関係がようやく動きが出てきそうと聞いた。

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

- ☑売 上…… 菓子の前月比は横ばい～増加、先行きは横ばい～やや増加。食品全体でも前月比で増加の声が多く、先行きも増加見込みとの声が多い。
- ☑景況感… 当月は横ばい～やや好転で、悪化との声はなかった。先行きは横ばい～やや好転で、横ばい見込みの声が多い。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「2月は忙しかったとの声が多かった。今後は、海外情勢も含めて不透明」「一般量販店向け商品の動向が回復しない。物価高の影響による買い控え、節約消費の影響は継続している」
- ・「原材料の値上がりの話が、常にある状況」「当社では2月に値上げを実施した。他社も値上げを行っており、結果は今後出てくる」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上… 前月比は減少、先行きはやや増加～増加。景況感は当月はやや悪化～横ばい、先行きは横ばい～やや好転。

[企業からのコメント]

- ・縁起物（際物）業界においては年末年始の繁忙期を終え、年間製造販売計画に基づく生産体制の見直しと部材仕入が始まった。直近の米国・イスラエルのイラン攻撃の影響による原油価格の高騰が更なる物価高・消費低迷につながらないか懸念される。
- ・日本海側の取引先が多いため、今年2月の大雪の影響で消費が停滞。

●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品… 販売は前月比、前年比ともに減少。先行きは横ばい見込みという。景況感は当月はやや悪化、先行きは横ばいを見込むという。
- ☑自動車向け部品… 販売は前月比、先行きともにやや増加。景況感は、当月、先行きともに横ばいという。
- ☑印刷……… 販売は前月比増加、前年比はやや減少。原材料単価は上昇、先行きも上昇を見込むという。

[企業からのコメント]

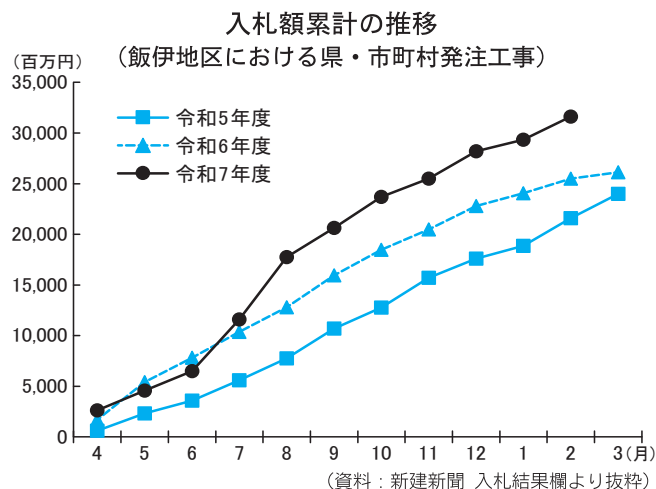
- ・関東の建築物件の着工件数がかなり減少しており、その主な原因が働き方改革によるゼネコンや一部の施工会社の人員不足、また物価高による労務費や資機材の高騰によるものであり、なかなか改善される見通しが立たない。
- ・各市町村からのお米券に代わる商品券の仕事が特需となっはいるが、利益には結びつかない。
- ・「年度末に向け、各自治体からの契約品に対する値上げがどこまで理解してもらえるかが問題」「いろいろな資材が値上がり続けている」

建設業

官公需

概況 2月の公共工事入札金額は前年比で60.1%増加、一昨年比では16.2%減少

- ✓公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、23.0億円（3月15日調査時点）。前年に比べ60.1%増加、2年前との比較では16.2%減少。
- ✓景況感…………… 当月は横ばい～やや好転で、横ばいとの声が多いが悪化との声はなかった。先行きも横ばい見込みの声が多いが、次いでやや好転を見込むとの声が多かった。
- ✓原材料価格…………… 当月は一部にやや上昇との声もあるが、全体では横ばいとの声が多い。先行きは燃料費の上昇を見込むなど、全体的に上昇見込みの声が多い。



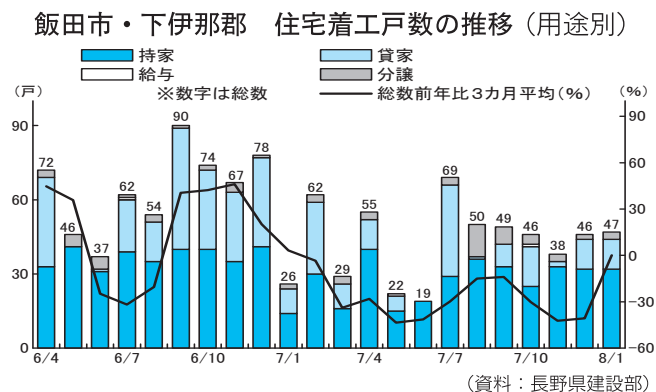
[企業からのコメント]

- ・「3月の入札案件が出始めた。早期発注と、受注の機会に期待したい」「補正予算、本予算での工事増加に期待」「令和7年度分の工事は完成した。新年度の発注を待っている状況で、直近は下請工事や民間工事等が多い」「2月は稼働日数が通常月より少なく工事高はやや減少、ただ業務高は堅調」「官公庁からの受注が順調」「年度末は現場の切り替え等もあり、稼働率は低め」「大規模工事の着工遅れにより、予定ができない状況との話を耳にする」
- ・「隣県の稼働率が低いため現状での人手不足感はないが、4月以降は人員不足が顕著になりそうだ」「人員の高年齢化が進んでいる。引き続き募集をしていく」「業務量はあるが、技術者が不足。今後も求人活動は継続」「人員に関しては現状維持で対応していく」
- ・「去年は3割の重機車両を更改した。今後も状況に応じて更改を進めていく」「設備は不足しているが現状維持」「ソフトウェアやDXの投資を実施」「今後、大型ダンプ、4tユニックの車両入替を予定」

民需

概況 令和8年1月の住宅着工戸数は47戸で前年比81%増加。
持家が大幅に増加し、6か月ぶりに前年比プラス

- ✓住宅着工戸数… 当地区の1月の住宅着工戸数は47戸。前月比2%増、前年比では81%増。持家の戸数は32件で前年（14件）から大幅増。貸家は12件で前年（10件）から増加。分譲は3件で、前年（2件）から増加。
- ✓景況感…………… 当月、先行きともに悪化～横ばいで、好転との声はない。
- ✓原材料価格…………… 当月は横ばい～やや上昇。先行きはやや上昇～上昇で、下降との声は聞かれない。



[企業からのコメント]

- ・原油の高騰がどこまで影響があるか注視している。

建設資材等

概況 2月の生コンの売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。
骨材は前月比やや減少、前年比はやや増加

- ✓生コン … 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。
- ✓骨 材 … 売上は前月比ではやや減少、前年比はやや増加。

[企業からのコメント]

- ・2月の主な出荷はリニア関連工事、三遠南信工事、発電関連工事、床固工事、バイパス工事等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は当月出荷量の5割弱。
- ・発電所関係の生コンの出荷をメインに、その他の現場への出荷もあってそれなりに仕事があったが、決して多いわけではない。生コンの需要は年々減っている。
- ・人員は足りているが、今後の育成を考えて雇用をしたい。

商業・サービス業

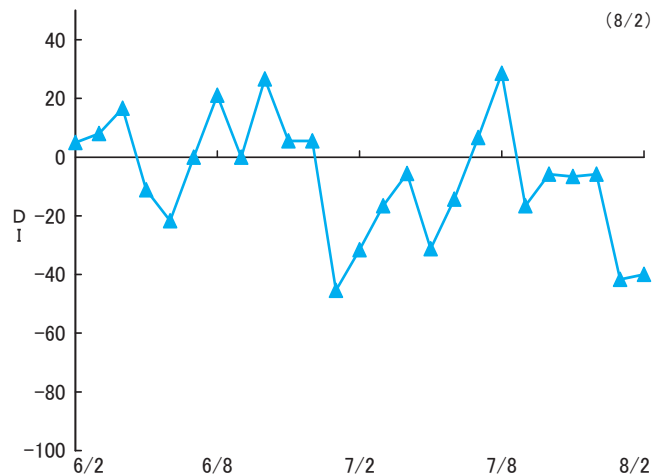
概況 景況DIは前月から大きく変わらず。卸売業、宿泊業で景況感悪化の声が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）はマイナス40.0で、前月から1.7ポイント上昇。

当月は全分野を通じて景況感好転との声がなく、卸売業や小売業、宿泊業の一部で景況感が悪化したとの声が聞かれ、全体の指数は前月から小幅にプラスとなったものの、前月と同様に低い水準にとどまった。長引く物価高の影響で、小売業からは買上げ点数の減少傾向、飲食業からは消費者の節約傾向が見られる、とのコメントがあった。

次月以降では、桜の季節に向けて飲食業、宿泊業の一部で景況感好転を見込む声が聞かれ、指数としては改善の兆しがみえる。ただ製造業と同様に、イラン紛争による石油製品価格の上昇や、消費者心理の悪化を懸念する声は多く、先行きの不透明感が増してきている状況とみられる。

商業・サービスDI



(8/2)

主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比は減少～横ばい。景況感はやや悪化～横ばい

☑売上 … 前月比は減少～横ばい。前年比は業者により増減分かれる。

☑景況感 … 当月はやや悪化～横ばい。先行きも同様。

〔企業からのコメント〕

- ・メーカー値上げはまだ続くものの、売上については増加率がやや鈍化してきている。買上げ点数は前年を割り込む状況もあり、売上高は前年比で微増にとどまっている。
- ・自治体の商品券配布の効果が続き、前年比では売上増加。ただ来店客は減少気味で、引き続き厳しい。

●卸売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感は、当月はやや悪化～横ばい、先行きは業者により見方が分かれる

☑売上 … 前月比で食品はやや増加、食肉は横ばい。建設資材、青果はやや減少。

〔企業からのコメント〕

- ・野菜は、価格高だった昨年と比べ、白菜やキャベツ、ブロッコリーなどは大幅に安い。一方で、1月に引き続き馬鈴薯（じゃがいも）と玉ねぎは高い。野菜全体では、入荷量は昨年並みも主要野菜を中心に価格安となったことで売上減となった。果実は、主力の苺は入荷昨年並みも価格は安い。みかんは入荷、価格とも昨年を下回ったが、他の国産柑橘類が販売好調。フジ（りんご）や市田柿も出荷最終盤ではあるが、豊作の影響で出荷増となり、果実全体では売上増となった。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業、宿泊業ともに業者により増減分かれる。景況感は、飲食業は横ばい、宿泊業は悪化～横ばい

☑売上 … 飲食業、宿泊業ともに前月比は業者により増減分かれる。先行きについても同様。

〔企業からのコメント〕

- ・「2月は前半は良かったが、後半は来店客が少なく静かだった」「宴会需要では、注文されるコースが最も安価なものが多く、また法事などでも一番安いコースの注文が増えていることから、消費の動向としては財布のヒモは固いと感じる。ただ、3月の年度末、4月の年度初めの予約は多く、景況感はそれほど悪いとは思っていない。特に、人数の多い予約が増えている」「米は高止まりしており、もう戻らないのではないかと。海鮮物も高止まりで、円安でさらに高くなる」
- ・「売上高は前月比、前年比で増加はしたものの、目標予算は下回っている状況。今後は季節のイベント、桜祭り、花桃祭りに期待する。星空ツアーに訪れる客足が遠のいていると感じるが、天候不順も影響している」「1月から急に市況が冷え込んできている」「気温が上がり、桜や花桃が咲き始める季節となり、3月下旬からゴールデンウィークにかけての予約も少しずつ埋まりつつある。世界情勢は非常に心配で、先行き不安なことばかりだが、観光の動きが活発になってくれることを願う」「1、2月は非常に厳しい状況。例年閑散期となるが、温泉地自体にお客様がいない状況。この閑散期を使い、修繕している施設が多数あり」
- ・「イラン情勢により、ガソリン代やその他の仕入商品の値上げが心配される。すぐには販売単価に反映することができない」「税金を投入してガソリン価格を下げてでもまた値上がりしそう。中国との問題も大きく、また米国・イスラエルとイランの戦争も大きな不安材料」

～伊那街道の営みと歴史を辿る～

6 飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所『飯伊地区経済動向』 No.563 (令和8年2月)

■旧伊那街道を辿り本長篠へ

田内地区へ入ると清崎交差点から旧道へ入り、賑やかなロードサイド商業施設は豊川の向こう岸に、**たない道の駅**したら「道の駅したら」から橋を渡っての位置になる。この道の駅には前号で紹介した関谷醸造の「ほうらいせん酒ラボ」が道の駅施設内にあり、一般の人が醸造の仕込み体験をすることもできる。

バスは再び国道257号へ復するのだが、そこに名跡「田峯観音」の案内板、その先の田峯交差点は田峯城への入り口となっている。田峯を **Season 1** では「たみね」と紹介したが「だみね」に訂正させていただく。地名辞典には「駄峰とも書く」（角川書店・愛知県版）とあり、「地表のタワミの多い当地の地形にちなむ」（同）としている。そういえば、前号に掲載した古地図「足助の庄」には「段嶺」の表示があった。田峯交差点で国道257号から県道389号（富栄設楽線）となり**田峯**を過ぎると稲目トンネルとなる。トンネルを出たところで県道32号（長篠東栄線）との重複となり、豊川支流の海老川に沿って下っていく。**海老**は県道から旧道に入った集落の中にあり、その先でまた県道に戻る。集落としての海老は江戸期伊那街道の宿場町であり、海老の名称は「集落の形が海老に似ているからとも、川エビがたくさんいたから」（角川地名辞典・愛知県版）ということだ。

玖老勢の交差点で県道436号が分岐するが、このまま県道32号を行く。旧伊那街道は436号で行き国道257号に入って大海の方へ抜けるルートだったようだ。

間もなく**鳳来寺表参道**に至る。鳳来寺は三遠南信地域を舞台にした大河ドラマ「おんな城主直虎」で主人公が一時根拠としたところとして三遠南信地域のアイコンともいえる。また鳳来寺山の辺りを中央構造線が通っていることも当南信州地域との縁を感じる一帯でもある。

鳳来寺への参拝は現在、東側の本長篠駅・湯谷温泉駅方面などから鳳来寺山パークウェイを自動車で登ってしまうのが主流と思われるが、かつては本長篠駅から旧田口線（飯田線国有化前の4会社の1つ**鳳来寺鉄道**の路線で後に**豊橋鉄道**となる）でこの鳳来寺駅で降り、参道を歩いていくのが通常だった。「**表参道**」という表示をバス停名に残しているところに地域の矜持を感じる。

私は子供の頃連れられて旧田口線で来てこの参道を上った記憶がある。後日、駅前の当時からあったという茶店で聞くと、バス停前の駐車場広場が鳳来寺駅舎跡で、田口線の線路は「今県道になっているところ」と教えてくれた。この辺りは旧鳳来寺町で現在は新城市になっており、いよいよ新城に近づいてきている。

鳳来寺表参道の先で峠を越える感覚で過ぎると旧鳳来寺町の中心部に入り、官公署等の施設が見られるようになる。

国道151号（同257号と重複）に接続する長篠交差点のところの**本長篠駅前**バス停に到着した。



田峯観音入口



鳳来寺表参道バス停と旧田口線駅跡

田口ー本長篠駅前バス路線関連図



本長篠駅前で時間調整のため15分程度の停車。本長篠駅前は国道151号沿いにあるため、「駅前」と言ってもJR本長篠駅からは徒歩1～2分の距離がある。

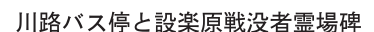
「道の駅もつくる新城」のところから県道439号（以前の国道151号）に入り、穂の香看護専門学校、川路（三河東郷駅）（以前は川路^{やとう}夜燈）という新しい名前のバス停を通る。川路バス停隣の勝楽寺には「設楽原戦没者霊場」がありこの一帯も設楽原合戦（長篠合戦）の舞台であったことを改めて知る。設楽原古戦場のど真ん中を新東名高速が通り、ICが設置され、工場団地が出来上がっていることになる。



■ 今日中に豊橋駅へ辿り着けないことが判明

豊橋駅前行きの最終バスは「16時25分」で現時刻は同35分過ぎ。何ともうバスがない。慌ててバス路線を調べ別の路線バスがないか、コミュニティバスなどで豊川駅あたりへ行けなか探す。結果、新城・豊川間は国道151号を行く豊鉄バス新豊線のみ。コミュニティバスは新城や豊川から放射状に周辺山間部へ向かう路線ばかりで、豊川へと繋がるものはなかった。

後日**豊鉄バス新城営業所**に確認したところ、時刻表改定はその通りで、「確かに接続しませんね」。**田口**発が遅くなったのは「**田口市街地**で**設楽町役場**などを回るようになったため」。**田口**からのバスが**豊橋駅前行き最終バス**と接続しないことについては、「そういう場合は、**本長篠駅**から**新城駅**で**JR 飯田線**を利用してください」とのことだった。

[illegible]

Day1			
飯田駅前	発	7:15	信南交通 駒場線(切石経由) 西部コミュニティバス どんぐりバス (稲武地域バス) 設楽町営バス (おでかけ北設) 豊鉄バス 田口新城線 豊鉄バス 新豊線
こまんば	着	7:47	
	発	7:57	
根 羽	着	8:40	
	発	12:49	
どんぐりの湯前	着	13:17	
	発	13:55	
田 口	着	14:38	
	発	15:03	
新城市民病院	着	16:11	
	発	16:25	
豊橋駅前	着	18:07	

8 飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所『飯伊地区経済動向』 No.563 (令和8年2月)

－ 水素エネルギーに関するアンケート調査結果 －

しんきん南信州地域研究所では、信州大学の実証実験で注目を集める「グリーン水素」に関連して、水素エネルギーの認識や導入の可能性などについて、地域の事業者様を対象としたアンケート（以下、「水素アンケート」）を実施しました。

ご多忙の中ご回答いただいた皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

I アンケート概要

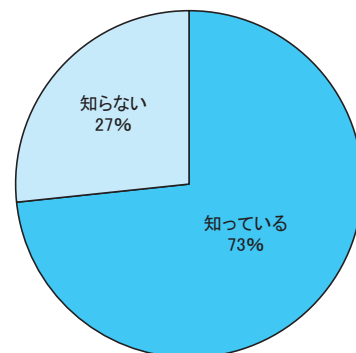
- ・飯田下伊那地域の企業を調査対象として、郵送・メール・インターネットによる回答を集計
- ・回答総数 60（製造業30、建設業19、卸・小売、飲食、宿泊業などを含む商業・サービス業11）
- ・調査期間 令和8年2月1日～2月20日

II アンケートの結果

● 信州大学が飯田市で実証実験を開始することを知っているか

調査時点において、信州大学が飯田市で水素に関する実証実験を開始することについて「知っている」「知らない」の内から一つ選択してもらった。結果は「知っている」との回答が44者、73%となっており、「知らない」（16者、27%）を上回った。

信州大学の実証実験について



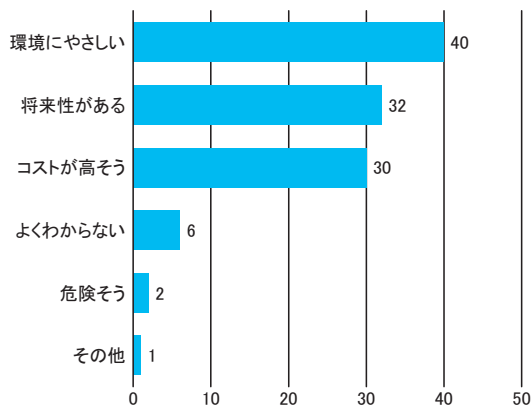
「知っている」と回答した事業者を業種別に見ると、製造業では83.3%、建設業では57.9%、商業・サービス業では72.7%となっており、製造業で知っている割合が高く、建設業で知っている割合が低い結果となっている。

● 水素エネルギーに対する印象

続いて、水素エネルギーに対する印象について、「環境にやさしい」「危険そう」「コストが高そう」「将来性がある」「よくわからない」「その他」の内から複数回答で聞いた。

最も多かったのが「環境にやさしい」（40者）、次いで「将来性がある」（32者）、「コストが高そう」（30者）が続いた。「その他」（1者）のコメントでは、「補助金ありきで事業を進めると失敗する事例が多い、自力開発を望む」との回答があった。

水素エネルギーに対する印象（複数回答）

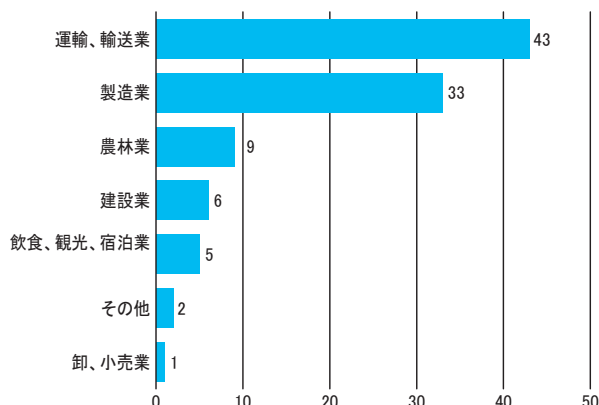


● 水素の利用が想像される分野

水素の利用が想像される分野についても、「製造業」「建設業」「卸、小売業」「飲食、観光、宿泊業」「運輸、輸送業」「農林業」「その他」の内から複数回答で聞いた。

「運輸、輸送業」（43者）が最も多く、続いて「製造業」（33者）となった。上位2業種と比較して「農林業」（9者）、「建設業」（6者）、「飲食、観光、宿泊業」（5者）は少ない結果となった。

水素の利用が想像される分野（複数回答）



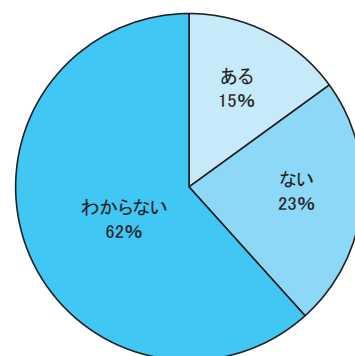
● 自社で水素エネルギーを活用できそうな場面があるか

自社で水素エネルギーを活用できそうな場面について、「ある」「ない」「わからない」の内から一つ選択してもらった。「わからない」との回答が37者、62%で最も多く、「ない」が14者、23%、「ある」は9者、15%という結果になった。

「ある」と回答した事業者に、どのような活用を想定しているか聞いたところ、「金属熱処理」「加工部品」「蓄電池としての活用」「水素コンロや水素調理器」「社用車の燃料として使用」「水素燃料バス」との回答があった。

また、「わからない」と回答した事業者を従業員数別に見ると、従業員数1～10人の事業者では67%、従業員数11～50人の事業者では65%、従業員数51人以上の事業者では50%となっており、従業員数が少ない事業者の方が水素の活用場面をイメージできていない割合が高いように見受けられる。

自社で水素エネルギーを活用できそうな場面があるか



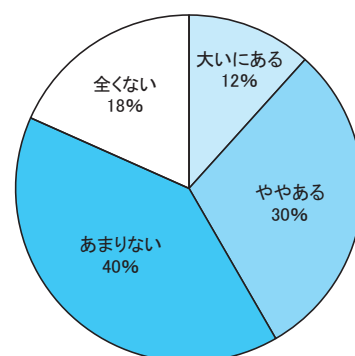
● 水素エネルギーの導入に対する関心の有無

水素エネルギーを導入することに対する関心があるかについて「大いにある」「ややある」「あまりない」「全くない」の内から一つ選択してもらった。

「あまりない」が24者、40%でトップ、次いで「ややある」(18者、30%)、「全くない」(11者、18%)、「大いにある」(7者、12%)の順となり、「あまりない」「全くない」が合わせて58%と、消極的な回答の方が多かった。

また、「あまりない」「全くない」と回答した事業者を従業員数別に見ると、従業員数1～10人の事業者では67%、従業員数11～50人の事業者では59%、従業員数51人以上の事業者では50%となっており、従業員数が少ない事業者の方が関心がやや低い傾向にある。

水素エネルギーの導入に対する関心の有無



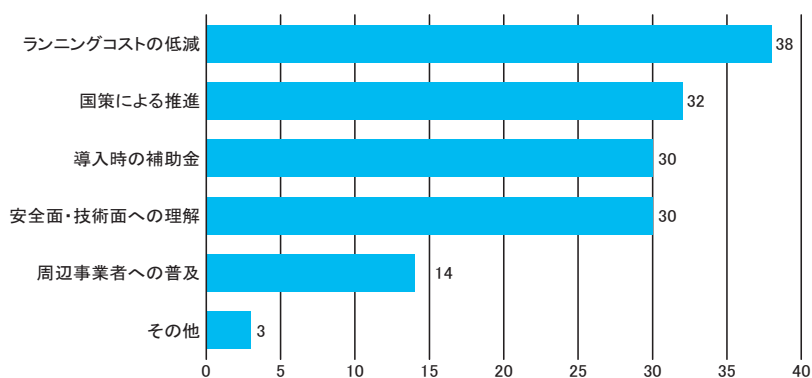
「大いにある」「ややある」と回答した事業者に、その理由について聞いたところ、「次世代エネルギーだから」「現状はまだまだ課題が多くあると思うが、技術革新の先には活用する場が多く出てくると思われる」「水素コンロや水素調理器を使ってみたい。時短調理等でメリットがありそう。しかし水素コストが高いからそこがネック」「今後どのような使われ方をしていくか興味がある」「関心はあるが、代替エネルギーとして活用方法がよくわからない」などの回答があった。一方、「あまりない」「全くない」と回答した事業者からは、「どのように活用できるかの情報がない」「使用用途がわからない」「導入するメリットが分からない」「コストが高い」との回答があった。

● 水素エネルギーの導入を前向きに考えるために必要な条件

水素エネルギーの導入を前向きに考えるための条件について、「国策による推進」「安全面・技術面への理解」「導入時の補助金」「ランニングコストの低減」「周辺事業者への普及」「その他」の内から複数回答で聞いた。

最も多かったのが「ランニングコストの低減」(38者)、次いで「国策による推進」(32者)、「安全面・技術面への理解」「導入時の補助金」(それぞれ30者)が続いた。「その他」(3者)のコメントでは、「水素が安定的に供給され、代替エネルギーの筆頭になることが必要」「水素エネルギーを利用できる車両や機械が普及すること」との回答があった。

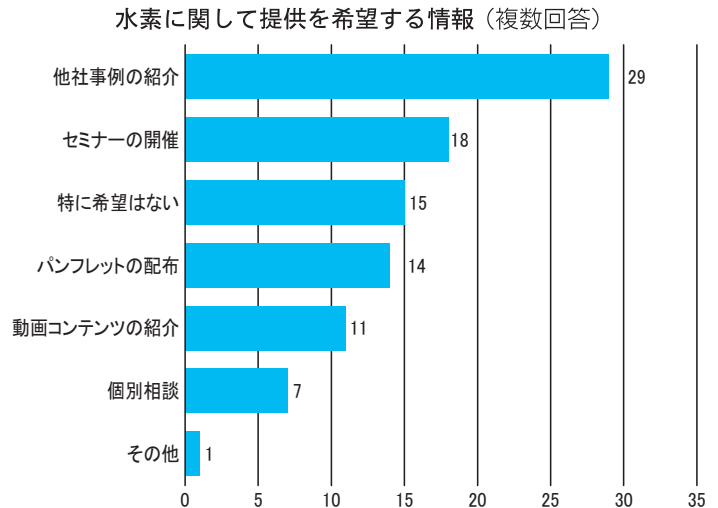
水素エネルギーの導入を前向きに考えるために必要な条件（複数回答）



● 水素に関して提供を希望する情報

最後に、水素に関して提供を希望する情報について、「セミナーの開催」「パンフレットの配布」「個別相談」「動画コンテンツの紹介」「他社事例の紹介」「特に希望はない」「その他」の内から複数回答で聞いた。

最も多かったのが「他社事例の紹介」(29者)、次いで「セミナーの開催」(18者)、「特に希望はない」(15者)、「パンフレットの配布」(14者)が続いた。「その他」(1者)では、「メールマガジンの配信」との回答があった。



● 自由回答欄より

- ・水素のようなクリーンエネルギーは必要であると考え。あとは安全で、安価であれば急激に普及が進むと考える。今行われている研究がその一助になることを期待している（製造）
- ・飯田で実証実験に取り組んでいるものの、かなり実用性が低いと聞く（量があまりにも少ない）。研究レベルは仕方ないが、採算を取れるような事業にしていかなければいけない（製造）
- ・エスバードにおいて信州大学と共同で研究していることは承知しているが、どのような活用が考えられるのか。例えば車の燃料や各種暖房機の燃料なのか、太陽光のような電気エネルギーに考えられるのかよくわからない（飲食・観光・宿泊）

Ⅲ まとめ

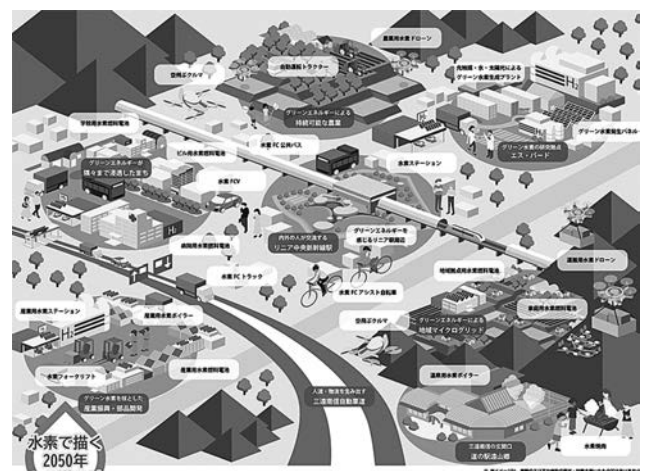
信州大学の水素に関する実証実験については、当地域の自治体が中心となって設立した「南信州地域・信州大学連携推進協議会」によるセミナーの開催や、地元新聞での記事掲載等により、事業者の中でも一定程度認知されている状況といえる。

一方で、水素エネルギーの具体的な活用想定や、自社での導入に対する関心の度合いはそれほど高いとは言えない。一住民の立場として考えると、当地域において実際に水素エネルギーに接する機会がほぼなく、水素を身近に感じられる環境にないことが影響しているように感じられる。また当然のことではあるが、事業者が水素エネルギーの導入について積極的に検討するためには、使用するためのコストが低く抑えられることが必要である、と考えていることがアンケート結果から読み取れる。

実証実験が進められる「光触媒式グリーン水素」は、水と太陽光だけで水素が取り出せる画期的な仕組みであり、安定的なエネルギー調達や、直近のホルムズ海峡封鎖による原油価格高騰の影響等を考えても、将来の代替エネルギー候補として地域としても大いに期待するところである。一方で、燃料電池車や水素ステーションの普及が進んでいない現状においては、事業者による具体的な動きに落とし込んでいくには、まだ一定程度の時間がかかるのではないかと印象を受ける。

信州大学では、2027年3月末にはグリーン水素の実証実験用パネルの設置を完了させ、実際に水素を発生させていくスケジュールを公表している。飯田市でも、昨年12月に「飯田市水素利活用ビジョン」を策定し、地域における具体的な水素の活用方法について、住民とともに考えていくとの方針を打ち出している。

グリーン水素の実証実験に関しては、信州大学の研究が順調に進むよう見守るよりほかにできることはないが、水素が身近に感じられるよう、我々としても水素のことを理解し、地域に発信する役割を果たしていく必要があると考えており、引き続きテーマとして取り上げていきたい。

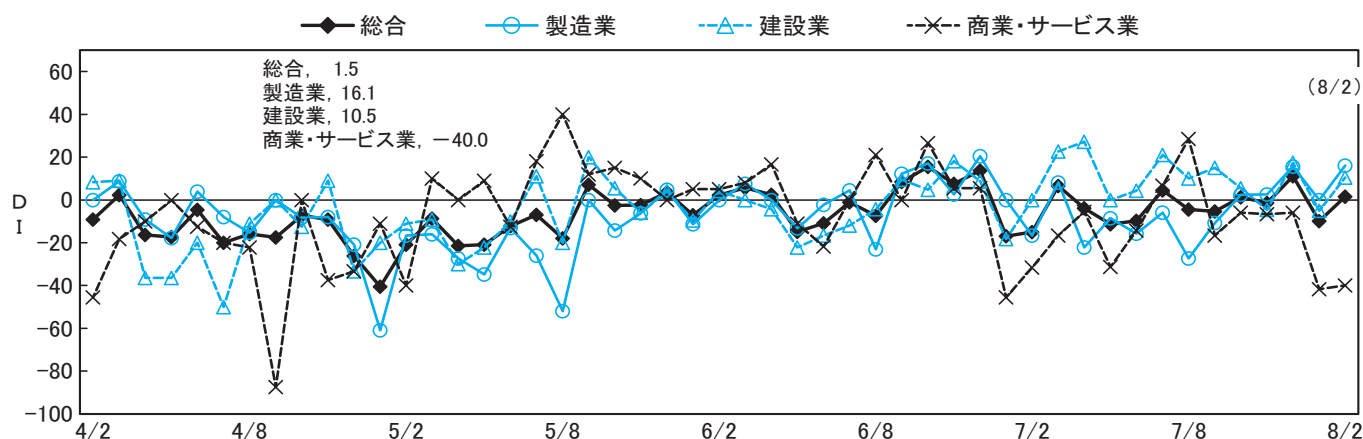


水素エネルギーが身近にある「2050年のまちの姿」イメージ図
（「飯田市水素利活用ビジョン」より）

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 竹内 文人）

飯伊地区全産業景況 D I の推移

飯伊地区景況 D I (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒 産 件 数 (負債総額1千万円以上)	県 内	5 件	(前月 11 件)	(前年同月 2 件)	(前々年同月 5 件)	(令和元年同月 4 件)
	飯 伊	0 件	(前月 2 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 1 件)	(令和元年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数) (1月)		47 戸	2.2 %	80.8 %	6.8 %	△ 16.1 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (1月)		1.32 倍	(前月 1.40 倍)	(前年同月 1.40 倍)	(前々年同月 1.47 倍)	(令和元年同月 1.53 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	1,905 台	1.0 %	△ 8.1 %	7.8 %	△ 19.6 %
	中古車	734 台	30.1 %	12.2 %	9.2 %	32.7 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会)	新 車	3,641 台	△ 0.1 %	0.7 %	19.4 %	△ 23.8 %
	中古車	954 台	4.8 %	7.3 %	6.5 %	24.7 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	83,365 台	△ 7.4 %	1.1 %	1.8 %	△ 14.6 %
	出	83,824 台	△ 5.5 %	3.8 %	1.7 %	△ 15.4 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	46,585 台	△ 4.7 %	4.7 %	0.6 %	△ 27.3 %
	出	44,364 台	△ 5.3 %	0.2 %	3.1 %	△ 27.4 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	11,269 台	3.2 %	△ 1.8 %	23.0 %	△ 5.3 %
	出	11,524 台	5.7 %	△ 1.6 %	31.8 %	△ 5.9 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	37,633 台	△ 2.9 %	△ 0.7 %	1.9 %	17.7 %
	出	36,350 台	△ 1.6 %	△ 3.1 %	△ 2.3 %	16.9 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	39,617 台	△ 5.4 %	8.9 %	17.2 %	— %
	出	40,174 台	△ 4.7 %	9.6 %	23.3 %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		129 件	1.6 %	0.0 %	△ 4.4 %	△ 14.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		3 件	(前月 0 件)	(前年同月 4 件)	(前々年同月 7 件)	(令和元年同月 31 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	19,511 人	△ 15.5 %	△ 5.0 %	5.1 %	△ 16.8 %
	飯田～名古屋	13,861 人	△ 1.5 %	5.4 %	5.0 %	△ 20.4 %
	飯田～長野	3,830 人	△ 5.6 %	19.3 %	13.1 %	△ 54.5 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	16,438 人	△ 4.8 %	△ 0.2 %	6.7 %	△ 12.3 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,787 人	1.0 %	2.8 %	4.7 %	△ 10.4 %
	右回り	2,792 人	△ 5.4 %	5.9 %	1.4 %	△ 9.2 %